

千葉大学アカデミック・リンク・シンポジウム
「つながる学び: アカデミック・リンクのこれまでとこれから」
2014年12月22日(月)

情報利用行動定点観測

アカデミック・リンク・センター兼務教員
白川優治(普遍教育センター)

情報利用行動定点観測プロジェクト Student Behavior Observatory

学生の学習行動と学習成果の関連を、情報利用行動と学習/生活空間の利用状況から継続的・横断的に検証する

Academic Link



情報利用行動 分析



- ①アカデミックリンク・図書館の利用状況
 - ②情報端末の利用状況
- 利用記録・アクセス記録の分析

学習/生活空間・時間利用状況データ

- ①授業参加状況
- ②自習室の利用状況
- ③自宅学習の状況

自己申告によるウェブアンケート



Academic Link Center

アカデミック・リンクの検証



学習成果への影響



学籍番号による接合



授業履修状況/学務情報と関連を分析



学習環境の検証

情報利用行動定点観測プロジェクト 調査・分析内容

本報告部分

- 千葉大学学習状況・情報利用環境調査(学生アンケート)
- IDを共通記号化したうえでの各種調査の結果と学生成績情報の連動分析
- 学生に対するフォーカス・グループ・インタビュー調査
- 学生撮影写真および個人インタビューの併用によるフォトボイス調査
- 定点カメラ映像を用いたアクティブ・ラーニング・スペース利用状況調査
- 赤外線センサーによる館内動態調査
- 図書館館内での図書利用状況調査
- 情報探索行動の自動認識のための技術開発

情報利用行動定点観測プロジェクト の意義と位置付け

- アカデミック・リンクの効果測定
 - 量的データの分析と質的データの分析
- 千葉大学の「教育のIR (Institutional Research)」として学修成果・環境変化の効果検証
- データに基づいた現実の学生の実態や現状を踏まえた (Evidenced Based) の教育改革の方向性の提言・検討材料

千葉大学 学習状況・情報利用環境調査

- 千葉大学全学生を対象とした独自webアンケート「千葉大学 学習状況・情報利用環境調査」(年1回定期)
 - 対象: 千葉大学に在学する全学部学生
 - 質問項目・内容:
 - A) 学習・生活空間の利用に関する設問
 - B) 情報利用行動に関する設問
 - C) 千葉大学附属図書館の利用状況
 - 調査時期・方法・回答数

	2012年度調査	2013年度調査
調査時期	2013.01.21－03.10	2014.01.10－03.10
調査方法	REAS(リアルタイム評価支援 システム:放送大学提供)を用いたウェブアンケート	REASと千葉大学Moodle(千葉大学の全学LMS)の2つのシステムによるウェブアンケート
回答数	1,026	928



学ぶ

◎ 人的支援

- ▶ 学習支援デスク
- ▶ ガイダンス・講習会
- ▶ PCサポートデスク

◎ 学習のための資料

- ▶ 授業紹介動画
- ▶ 授業資料ナビゲータ
- ▶ インフォメーションシート
- ▶ 研究・教育活動の紹介
- ▶ 児童文学事典

▶ 学習空間の使い方

▶ 1210あかりんアワー

教える

▶ 教材作成支援

- ▶ 教材動画収録案内
- ▶ コンテンツ制作室
利用案内

▶ 学習空間

(使い方/利用申込)

- ▶ ガイダンス・講習会
- ▶ 千葉大学Moodle

知る

お知らせ

- ◎ 2014.12.19 [1210あかりんアワー1月のイベントをお知らせします](#)
- ◎ 2014.12.10 [学習状況・情報利用環境調査2014 ご協力をお願い \(12/10-2/15\) アンケートはこちら](#)
- ◎ 2014.12.01 [PCサポートデスクの開設時間を変更しました](#)
- ◎ 2014.11.21 [千葉大学アカデミック・リンク・シンポジウム「つながる学び：アカデミック・リンクのこれまでとこれから」を開催します \(12/22\)](#)
- ◎ 2014.11.10 [コンテンツ制作室の開室時間を変更しました \(11/10-\)](#)
- ◎ 2014.10.16 [N棟2階学習支援デスク後期の時間割について](#)
- ◎ 2014.10.09 [千葉大学学習状況・情報利用環境調査2013集計報告書を公開しました](#)
- ◎ 2014.10.01 [授業紹介動画 \(2014年度後期授業\) を公開しました](#)
- ◎ 2014.8.29 [あかりんアワー2014年度前期開催一覧を公開しました](#)
- ◎ 2014.4.22 [2013年度評価委員会調査報告書を公開しました](#)

◎ 過去のお知らせを見る

▶ アカデミック・リンク・セミナー

▶ アニュアルレポート

▶ 見学の方へ

▶ お問い合わせ/アクセス

▶ 評価委員会報告書

▶ 千葉大学学習状況・情報利用環境調査
集計報告書

▶ アカデミック・リンクとは？



調査結果の公表状況

Academic Link

千葉大学アカデミック・リンク・センター

千葉大学 千葉大学附属図書館



Follow me on
twitter



Find us on
facebook

現在地=HOME > 知る > 千葉大学学習状況・情報利用環境調査集計報告書

学ぶ

○ 人的支援

- ▶ 学習支援デスク
- ▶ ガイダンス・講習会
- ▶ PCサポートデスク

○ 学習のための資料

- ▶ 授業紹介動画
- ▶ 授業資料ナビゲータ
- ▶ インフォメーションシート
- ▶ 研究・教育活動の紹介
- ▶ 児童文学事典

▶ 学習空間の使い方

- ▶ 1210あかりんアワー

教える

▶ 教材作成支援

- ▶ 教材動画収録案内

▶ コンテンツ制作室 利用案内

▶ 学習空間 (使い方/利用申込)

- ▶ ガイダンス・講習会

- ▶ 千葉大学Moodle

千葉大学学習状況・情報利用環境調査集計報告書

アカデミック・リンク・センターでは、アカデミック・リンク、附属図書館および千葉大学の学習環境を整備するため、また、学生の学習行動と学習成果の関連を検証することを目的に、「千葉大学学習状況・情報利用環境調査」を毎年度実施しています。

● 2013年度集計報告書 (2014年8月発行) ●

【調査の概要】

- 実施期間: 2014年1月10日～3月13日12時まで
- 方法: REAS(リアルタイム評価支援システム: 放送大学提供)と千葉大学が用いているLMSであるMoodleを用いたウェブアンケート
- 対象: 千葉大学に在学する学部学生
- 調査項目: A) 学習・生活空間の利用に関する設問、B) 情報利用行動に関する設問、C) 千葉大学附属図書館の利用状況

[報告書本文はこちら](#)◎

● 2012年度集計報告書 (2013年9月発行) ●

【調査の概要】

- 実施期間: 2013年1月21日～3月10日24時まで
- 方法: REAS(リアルタイム評価支援システム: 放送大学提供)を用いたウェブアンケート
- 対象: 千葉大学に在学する学部学生
- 調査項目: A) 学習・生活空間の利用に関する設問、B) 情報利用行動に関する設問、C) 千葉大学附属図書館の利用状況

[報告書本文はこちら](#)◎

千葉大学学習状況・情報利用環境調査 2013 集計報告書



千葉大学アカデミック・リンク・センター



ただいま実施中！

千葉大学・学部学生対象

「学習状況・学習環境アンケート 2014」

- アカデミック・リンク・センターでは、「附属図書館本館」「アカデミック・リンク」をはじめ、千葉大学の学習環境の整備・改善に役立てるため、下記の要領でアンケート調査を行います。
- 学部学生のみなさんの学習行動や情報利用の状況、学習環境等について広く知るためにも、なるべく多くの学生の皆さんにご協力いただきたいと思ます。

回答者の中から
抽選で3名様に

iPad mini3

を差し上げます。

【対象】

千葉大学に在籍する
全ての学部学生

【回答期日】

2015年
2月15日(日)
24時まで

【回答方法】 いずれかの方法で回答してください。



①調査専用ウェブサイトから回答する。

<https://reas2.code.uj.ac.jp/reas/q/35848>



②“千葉大学 Moodle2014”に設定されている「学習状況・学習環境アンケート 2014」から回答する。<https://moodle.chiba-u.jp/moodle14/course/view.php?id=747>

※ QR コードは、ガラケーなど一部機種からはアクセスできないこともあります

●問い合わせ 千葉大学アカデミック・リンク・センター TEL 043-290-2243 E-mail alc-info@chiba-u.jp

● 現在2014年のアンケート調査を実施中

● 学生のみなさんには回答をお願いします

IDを共通記号化したうえでの各種調査の結果と 学生成績情報の連動分析

• 情報利用行動分析

- 附属図書館の入館記録(2012・2013年度)
- 附属図書館での図書貸出記録(2012・2013年度)

附属図書館

附属図書館

• 学習/生活空間・時間利用状況データ

- 千葉大学全学生を対象とした独自webアンケート:
千葉大学 学習状況・情報利用環境調査(2012・2013年度)

アカデミック
リンクセンター

• 授業履修状況/学務情報

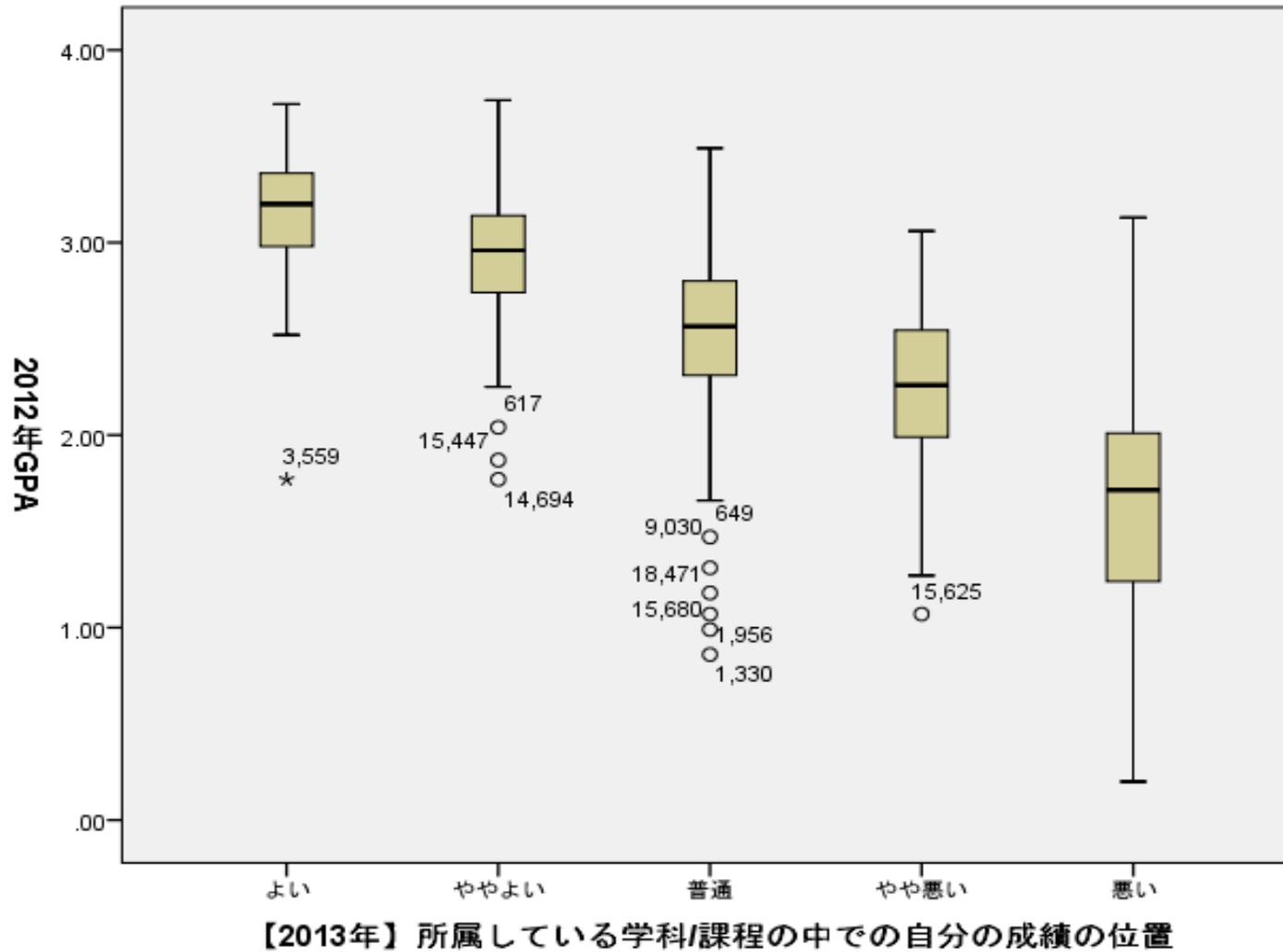
- 学士課程在籍全学生の履修単位数・GPA・成績状況
(2011・2012年度)
- 学士課程在籍全学生の入学時の入試記録(2011年度)

教務課

入試課

- 研究倫理上の審査を経たうえで、データを収集・統合
- 学籍番号を匿名化コードに変換し、個人情報削除して
結合した分析パネルデータセット(n=13703)を構築

データ特性・信頼性



「調査における成績の自己認識」(2013年調査回答) × GPA(客観データ)

データ特性・信頼性

- データ特性

- 回答者は、平均的な千葉大生よりも

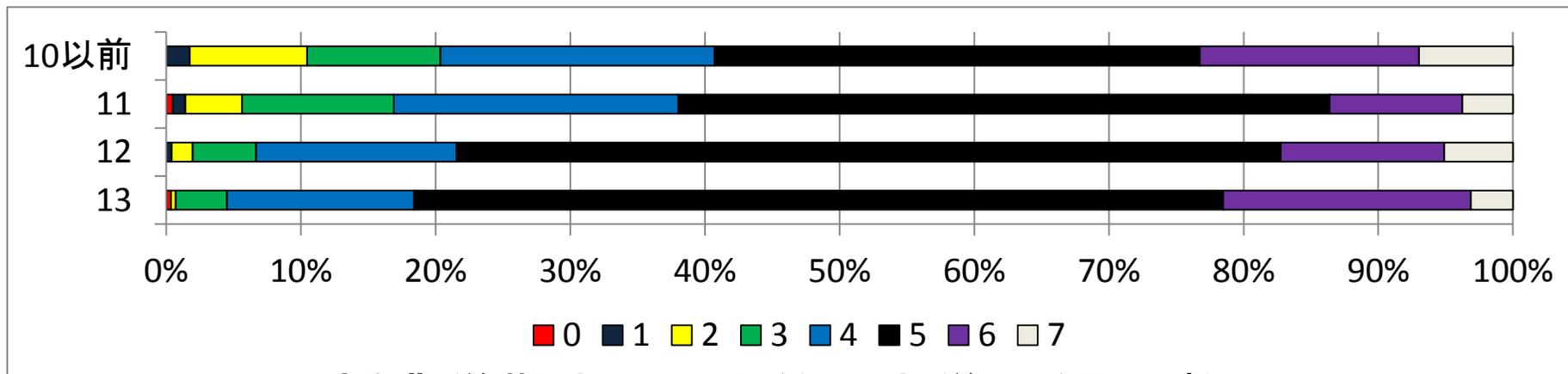
- 成績がよく、履修授業を精選している。
- 図書館にもよく来館し、本を借りる頻度も高い。

- データの信頼性

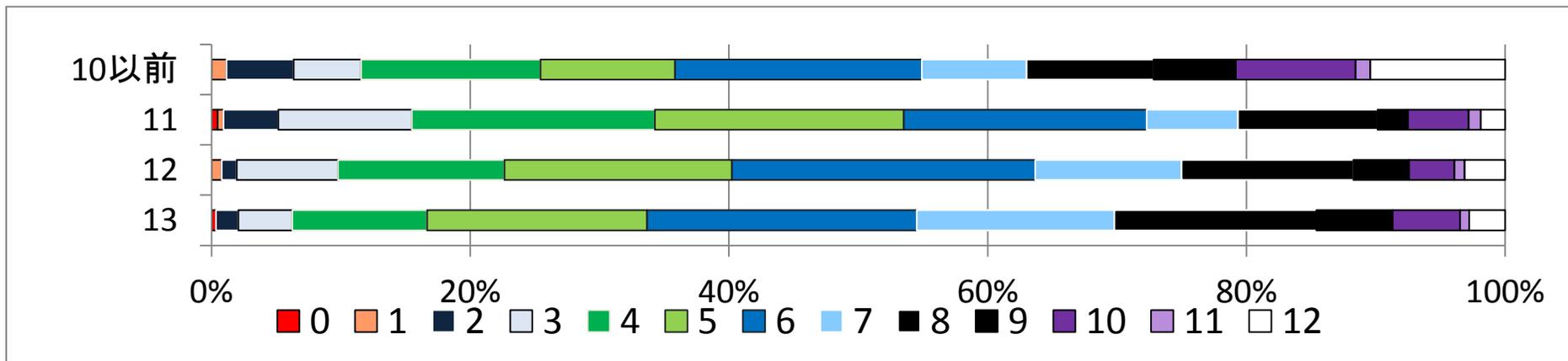
- 複数の学内調査・客観データと比較する時、データの傾向は一致しており量的分析の対象として回答は信頼できる

授業学期中の平均的な大学にくる日数・滞在時間

- ・大学にくる日数(週) 4.7日(平均)
- ・平均的な日の大学の滞在時間(時間) 6.2時間(平均)

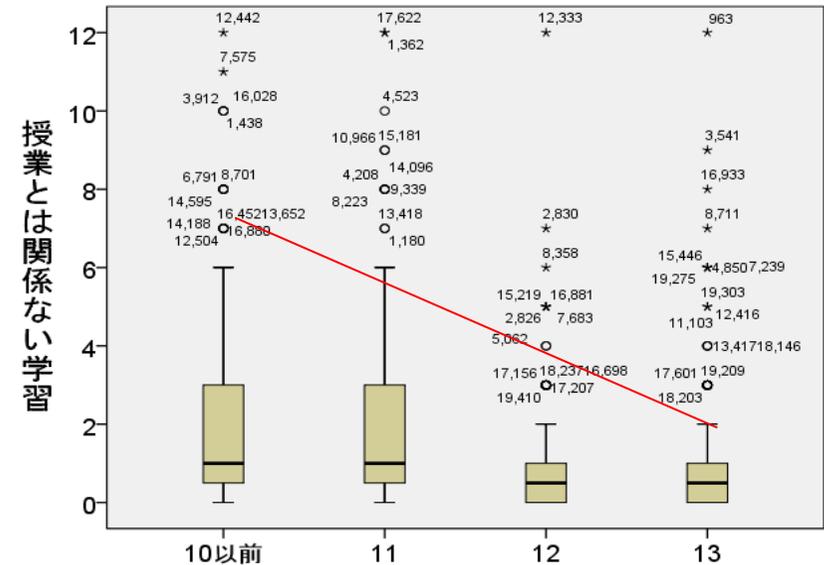
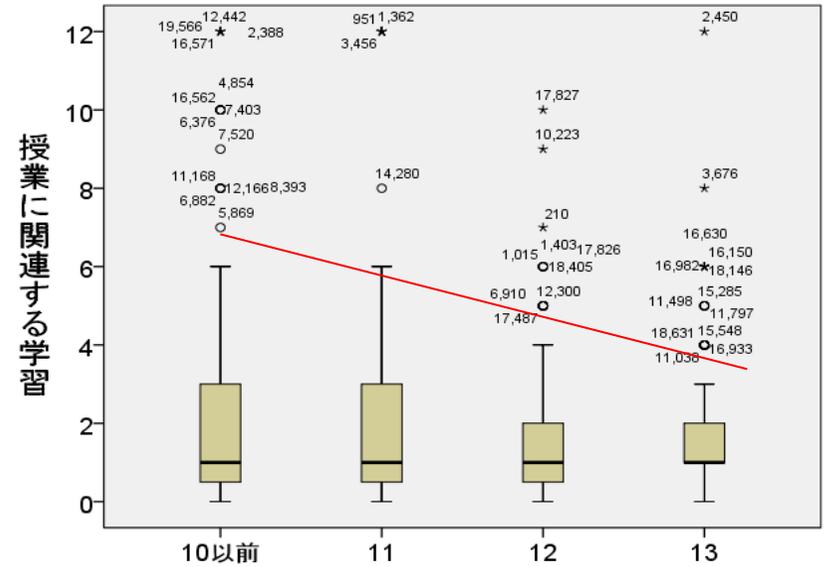
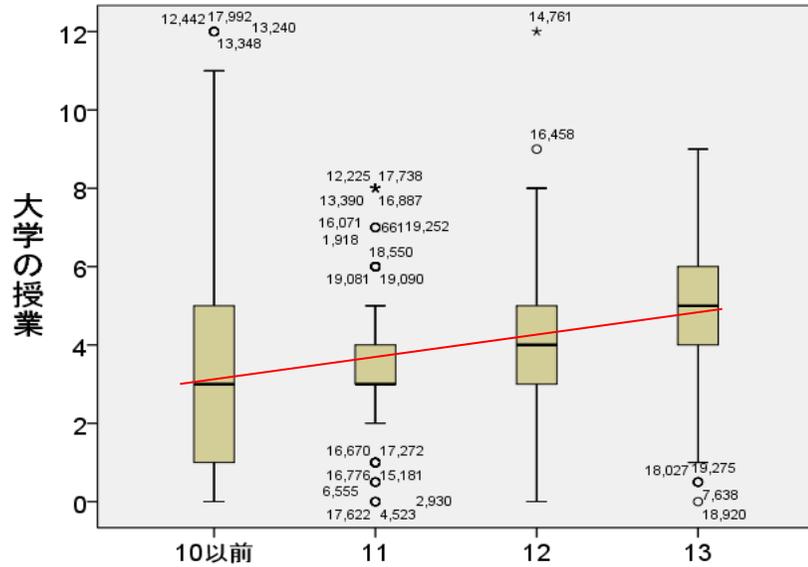


授業学期中に平均的に大学にくる日数(週)

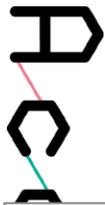


授業学期中に平均的な日の大学の滞在時間(時間)

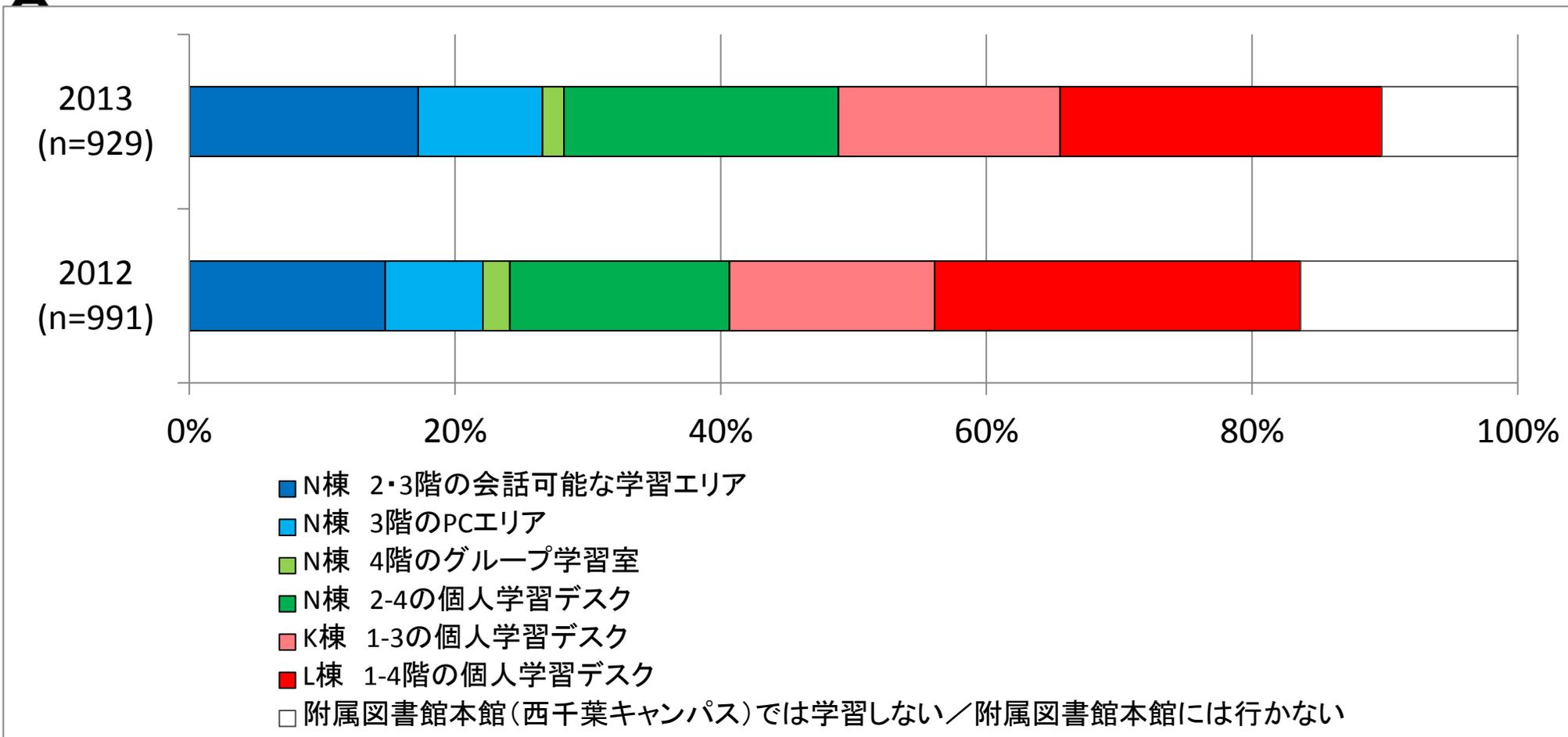
学習時間の状況



- 1年次は授業中心の学習
- 3年次以降、「授業外の学習の個人差」が広がる

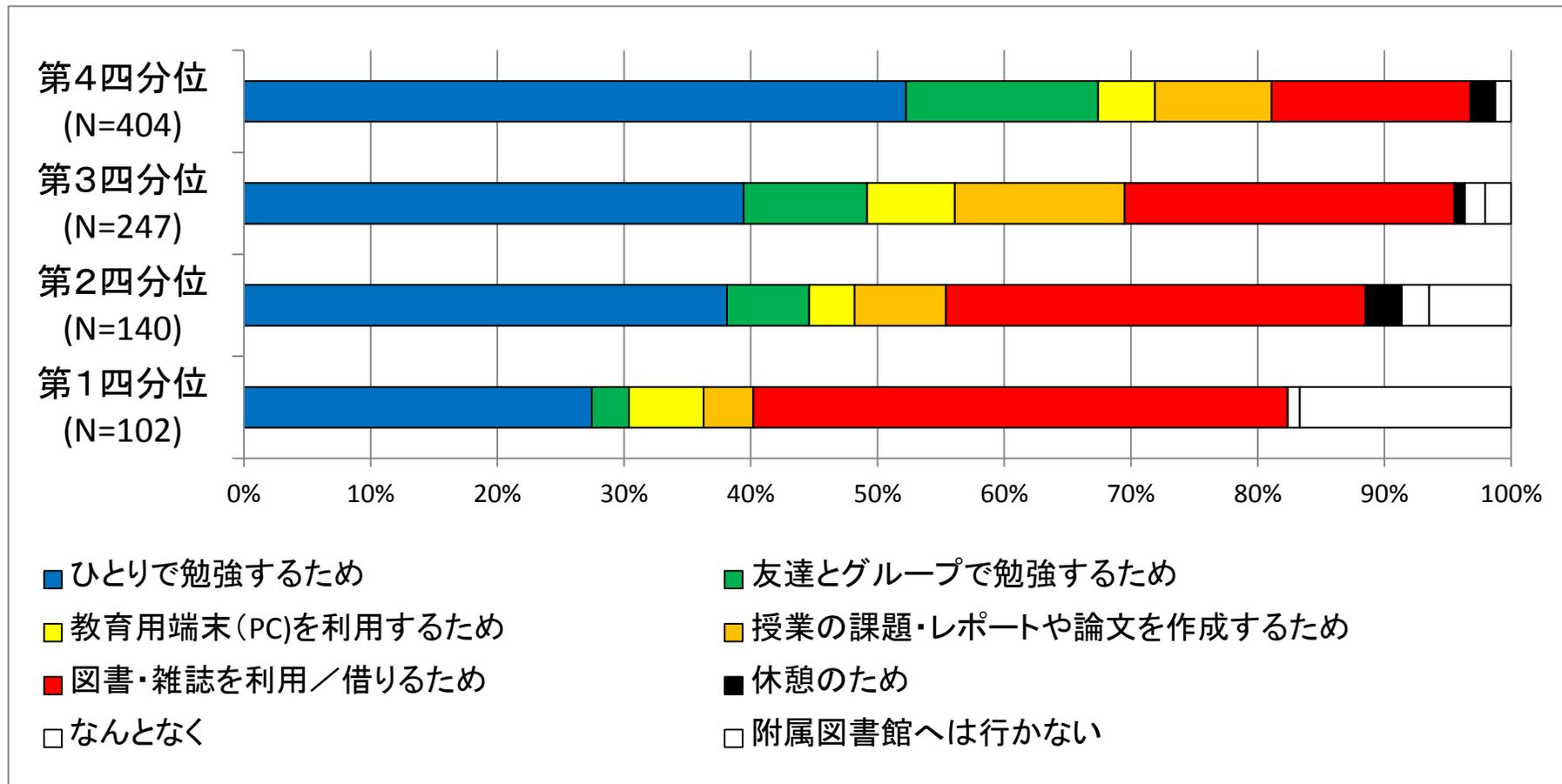


新しい学習環境の評価



附属図書館本館で最も好ましいと思う場所

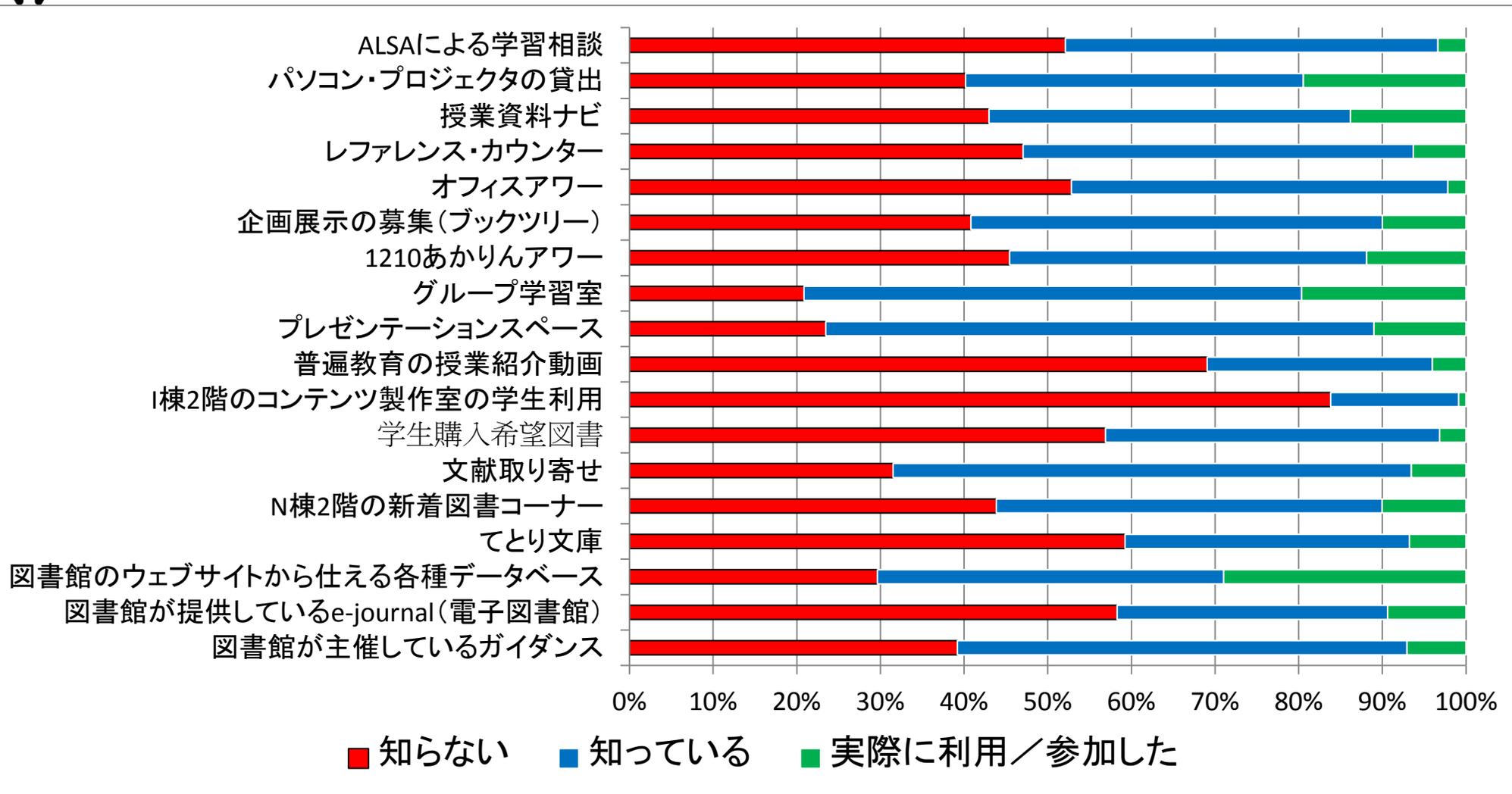
学習環境の利用状況・利用目的



附属図書館の利用目的×入館日数四分位

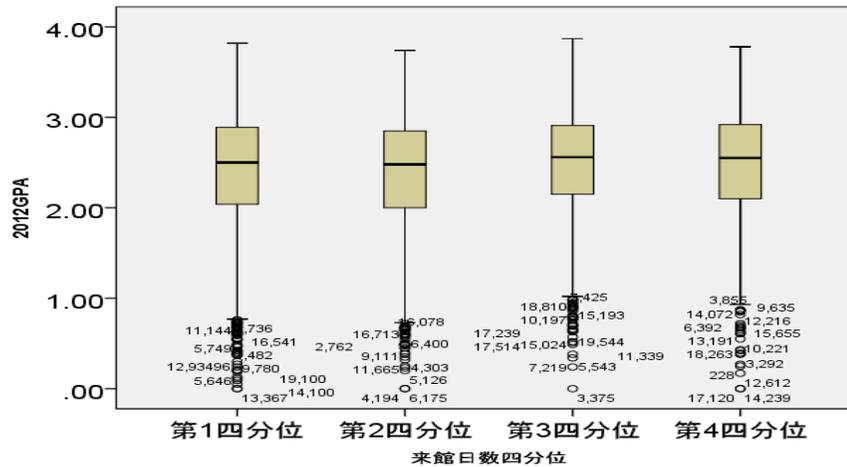


学習環境の利用・認知状況

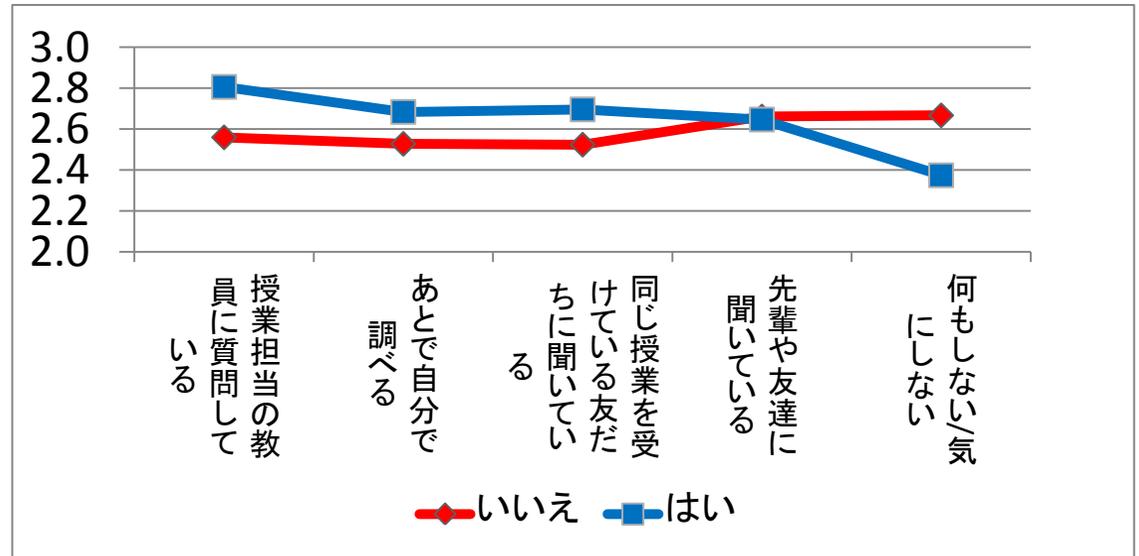


学修成果 (GPA) は何に影響を受けているのか

図書館の利用状況とGPA



学習への姿勢とGPA



まとめ

• 学習状況・学習時間について

- 学年進行とともに、授業中心の学習から、授業外の自主学習中心の学習に変化する。
- しかし、自主学習については、個人差が大きい。また、学部・専門性の相違も考慮する必要がある。

• 学習環境の利用状況について

- 新しい学習空間(会話可能エリア)は学生に受け入れられている。他方、静かな学習空間を好む学生もほぼ同じ割合存在する。
- アカデミックリンク設置前後の入学年で、図書館の利用行動に違いがみられる。グループで学習できる場所という意識が図書館来館につながっている可能性がある。
- とはいえ、アカデミックリンクセンター・附属図書館の各種企画・サービスの認知度は高いとは言えず、さらなる組織的な努力・方法の検討が必要である。

• 学修成果と学習環境の関係から

- 学生の学修成果を高めるためには、学習姿勢をどのように変えていくのか
＝教育プログラム・教育方法・学生への働きかけとしての大学教育の在り方